

## 第59回 道徳教育研究会～道徳教育の新たな充実をめざして～

今年度は、全国五五会場での開催を予定しており、九月末日現在で、五〇会場で実施された。新型コロナウイルス感染拡大の第七波の影響により、やむを得ず中止した会場はあつたが、各会場で開催方法を工夫・検討するなど、十分な感染対策を講じて行うことができた。ここでは、次の二会場の様子を報告する。

（含む） 参加があつた。当日は、実践発表と講義が行われ、参加者の反応も好評であつた。

された。新型コロナウイルス  
感染拡大の第七波の影響によ  
り、やむを得ず中止した会場  
はあつたが、各会場で開催方  
法を工夫・検討するなど、十  
分な感染対策を講じて行うこと  
とができた。ここでは、次の  
二会場の様子を報告する。

## 実践発表 「教師の本気が子どもを変える」

モラロジー道徳教育財団 学校教育センター  
元九十九里町立豊海小学校 教諭

長澤 勇哉

「子どもたち一人ひとりが

- ①自己的生き方を考える
  - ②主体的な判断の下に行動する
  - ③自立した人間として他者

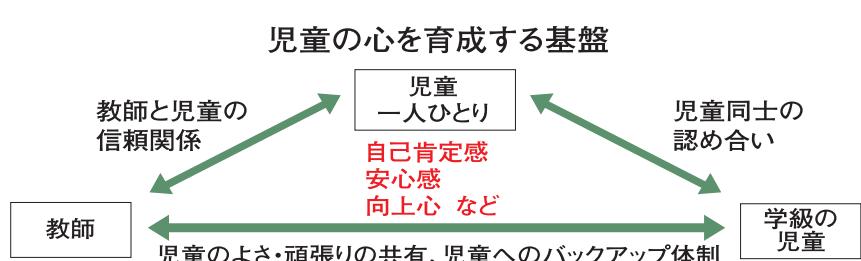
識し、成長できるようにならう。

道德教育の目標達成に向けた取り組みについて児童の活動場面を動画で紹介した。

柏会場では、「育てよう子どもの心、高めよう教師の心」をテーマに、麗澤大学かえで校舎一六〇三号室で開催した。県内の小中高の現職教員八二二名、地二〇名の児童一〇二名

さらに、「子どもたちを信じる、自分を計算に入れないと、教師の本気のアプローチ

参加者からは、



## 目指す児童像の共有

- |                       |                         |
|-----------------------|-------------------------|
| ① 自分を見つめ、よりよい生き方を考える。 |                         |
| 個性の伸長                 | 長所を伸ばし、短所を改善する。         |
| 希望と勇気、努力と強い意志         | 目標に向かって高い意識で粘り強く取り組む。   |
| ② 友達との関わりの中で、考えを広げる。  |                         |
| 感謝、礼儀                 | 友達へ感謝の気持ちをもち、真心をもって接する。 |
| 相互理解、寛容               | 自分と異なる意見や立場を尊重しながら行動する。 |
| ③ 集団との関わりの中で、自他を尊重する。 |                         |
| 勤労、公共の精神              | 集団の役に立つことを考え、主体的に行動する。  |
| よりよい学校生活、集団生活の充実      | 教師や友達を敬愛し、協働的に行動する。     |

チの大切さを参加者に問い合わせながら、「教師も子どもも五感を磨き合い、第六感（直

こうした学び方をぜひ中・高の実践でも展開してみたいとの声があがつた。

## 講義「他人事にしない教育力 ～出来ることを少しずつ～」

モラフロジー道徳教育財団 特任教授  
麗澤大学 特任教授 教職センター長  
**大久保 俊輝**

- ① 欲望の制御への挑戦
- ② 授業実践紹介
- ③ サタモラ（サタデーモラル）

### 「麗澤大学魂の授業」

【講義ゲスト 山元雅信氏（サタモラ第三〇回出演）】映像を紹介しながら、「心の置き方・技のタイミング・体のさばき方」を導入して、特別の教科「道徳科」の目的や方法を紹介した。

主体的な判断の下に行動するための「仕掛け」として、我が事と捉える訓練、すべてが判断力に現れる、行動すれば波が立つ、など具体的な実践例を紹介した。自立した人間として、他者と共によりよく生きるために、道徳性を育成するために、道徳的行為を可能にする人格的特性と、人格の基盤となる人間

らしいよさを結び付けて話した。

現代社会の醜い大人が手本になっている状況を参加者に問い合わせ、納得させる授業をしているかなど、教師の日々の実践を振り返らせた。国際情勢にも目を向けさせ、現実の出来事を教材化する工夫に

## 特別の教科「道徳」の目的

道徳教育は、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神に基づき、自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共にによりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目標とする。

## 道徳性とは

「人間としての本来的な在り方やよりよい生き方を目指してなされる**道徳的行為を可能にする人格的特性**」です。またそれは、**人間らしいよさ**であり、人格の基盤となるものです。

学校における道徳教育では、道徳的**判断力・心情・実践意欲と態度**などの道徳性を養うことが目標です。

ついで「挨拶が争いを止める」という視点から、実際の大学生との授業「しくじり校長と麗澤大生がロシアとウクライナ問題を考える（サタモラ第三十九回）」を視聴した。

## 参加者の声

・道徳の授業で対話するだけでなく、学級全体で道徳的な活動を取り入れて行動に移す時間を設け、経験として残すこととは子どもたちにとっても重要な再認識した。  
 道徳の授業こそ、といふ言葉が心に残った。感性を磨くことを大切にしたい。  
 挨拶により、相手の心を開き、互いに気持ちよく向き合えるよう、私も実践したい。  
 講師の先生の言葉から、本気さとやることなど、人事にしないことなど、本気さと熱いものを感じた。愛を感じる講演であった。  
 最後に参加者みんなで歌った「野に咲く花のように」の歌詞も印象的であった。  
 次年度も先生方に喜ばれる内容を検討して、開催していきたい。